

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	◎	*	*
	○	百貨店（店長）	・新型コロナウイルス感染拡大第7波の収束を、約1か月半後と想定している。9月以降、感染が一定レベルに落ち着いてくれば、来客数や売上も好転していくと考えている。
	○	スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば、上向きになると思っている。
	○	コンビニ（経営者）	・周辺地域の状況に大きな変化がないため、現状同様やや良くなる。
	○	コンビニ（店長）	・プレミアム付商品券の効果が期待される。
	○	衣料品専門店（統括）	・ようやく、新型コロナウイルスの感染状況が、やや持ち直してきたように思っていたが、最近になって、再び新規感染者数が増えてしまっている。これから祭りシーズンになるが、夏祭りを中止するところが出てきている。当地は秋祭りなので、10月までには持ち直してくれれば良いと思っている。何とか祭りが再生することを願っている。
	○	家電量販店（店員）	・天候が回復して猛暑日が増えていけば、エアコンや冷蔵庫等の動きに期待できる。
	○	都市型ホテル（支配人）	・新型コロナウイルス感染拡大のピークアウトが1か月～1か月半後との報道もあるので、ピークアウトすることを願って、やや良くなると予想する。
	○	タクシー（経営者）	・全体的に動きが良くなってきたので、この先も良くなるのではないかな。
	○	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増減に影響される恐れがある。
	○	設計事務所（所長）	・当県内に限れば、国体の開催もあるので、多少の景気上昇は期待できる。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・現在の暑さが少し落ち着いてくるようになれば、人の動きが出てくると思うが、なかなか難しい状態である。物価が毎回のよう値上がりしているため、客も考えて行動している。
	□	一般小売店〔土産〕（経営者）	・前月には考えられないほど、新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない。観光業を営んでいるので、通常、夏休みに入ると徐々に忙しくなってくるが、感染拡大に伴い、自主的に行動制限する方が多く、前月より売上が悪くなっている。周囲の店や宿泊施設も低調な予約のため、景気の悪い状況が続いている。
	□	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大を始めとして、食料品、エネルギー価格等の高騰など、依然として先行きは不透明で、景況改善は見込めない。
	□	百貨店（店長）	・4～6月の売上が、2019年比マイナス5～10%で推移しており、戻りの鈍い状態が続いている。
	□	乗用車販売店（販売担当）	・ようやく新型コロナウイルスの感染対策の行動制限が緩和され、観光客も増えてきて、周囲のホテル、物産店、ドライブイン関係が、さあこれからだというときに、また感染拡大第7波の影響で、キャンセルが相次いでいる。それに同調しているわけではないが、新車に関しては注文後、半年～7か月先の納車になるが、2～3か月先も全く同じような状況である。新型コロナウイルスが収束、または沈静化しない限りは、車の販売もホテル関係も良くならない。
	□	自動車備品販売店（経営者）	・やはり新型コロナウイルス感染症の影響もあり、人の動きは鈍く、購買意欲もまだ上がっていない状況がもう少し続く。
	□	住関連専門店（仕入担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の第7波が想定以上に大きく、今後、行動を抑制する流れになると、更に個人消費は落ち込む。
	□	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・今の課題は、新型コロナウイルスの新規感染者数の状況が厳しいことである。また、猛暑でもあり、人出が特に悪くなりそうである。子供と高齢者が内向きになってしまうことが予測される。メーカーや問屋の在庫が薄くなり、的確な品ぞろえが難しくなっている。
□	一般レストラン（経営者）	・物価高騰はまだ続くだろうし、給料が上がる等がない限り、悪い状態が変わらず続くだろう。新型コロナウイルス感染症も対策をしっかりとって慣れてくれば、人も動くと思うが、まだしばらくは現状のままである。	

□	一般レストラン [居酒屋] (経営者)	・社会情勢次第だと思うが、変わらない。
□	一般レストラン (経営者)	・仕入品の価格はまだ上がるだろうと読んでいる業者が多いので、先行きは不安である。
□	観光型ホテル (経営者)	・変わらないというより、分からないというのが正直なところである。政治行政が明確に方向性を出さなくてはいけないと思う。
□	都市型ホテル (総支配人)	・客自身が様子見しながらの予約状況となっているが、以前のようなキャンセルラッシュとはならないのではないかと。スポーツや学生団体の予約等も新型コロナウイルス感染症の発生前に戻りつつある。
□	旅行代理店 (所長)	・全ては、新型コロナウイルスの感染拡大が今後どのように推移するかにかかっている感じがする。また、全国旅行支援や、Go To Travelキャンペーンの実施の有無に大きく左右される。
□	旅行代理店 (従業員)	・サル痘関係が不安だが、このまましばらくは現状が続くと思う。
□	通信会社 (経営者)	・数か月での回復は一切見込めず、人員削減等の経費削減を進めている。
□	通信会社 (社員)	・しばらくは現状が続く。
□	通信会社 (総務担当)	・人気機種の新規スマートフォンの発売による販売増が見込めるので、今年度は毎月悪化しているが、その中で横ばいを予想している。
□	通信会社 (局長)	・機器の納品時期が不安定なので、販売方法が複雑化しており、生産性が下がっている。
□	競輪場 (職員)	・経済活動を行いながら、新型コロナウイルス感染症対策を実施している状況だが、新規感染者数の急増で、自粛ムードになってきている。また、物価上昇も続いており、良い方向に向かう要因は、現在のところ見いだせない。
□	住宅販売会社 (経営者)	・多業種に渡って、状況が悪化しているとの話を耳にする機会が多くなっている。新型コロナウイルス感染拡大が落ち着くまで、この状況は続くことになりそうである。
□	その他住宅 [住宅管理・リフォーム] (営業)	・会社全体の業績でみると、公共工事の受注で一息ついてきている感じである。民間工事は原材料価格高騰によるコスト高を敬遠して、積極的とは言い難い姿勢を感じている。
▲	商店街 (代表者)	・緊急事態宣言が発出されてもおかしくない状況で、新型コロナウイルス感染拡大第6波の頃の状況に戻った景気になりそうで、恐ろしく感じられる。
▲	一般小売店 [青果] (店長)	・これだけ新型コロナウイルスの新規感染者数が増えてくると、ある程度感染が沈静化しない限り、不安で出歩いたり、買物等もできない状態である。
▲	百貨店 (営業担当)	・新型コロナウイルス感染拡大の出口が見通せない。物価高騰等や不安要素の払拭が見えない状況が続くと予想される。
▲	スーパー (商品部担当)	・新型コロナウイルス新規感染者数の増加や諸物価の値上がり傾向と、家計に対する良い話はない。天候不順の影響等も考慮すると、まだまだ厳しい状況が続きそうな感じがする。
▲	コンビニ (経営者)	・このところの、数多くの値上げに伴い、買い控えが出てきている。食料品の値上げは今後、ポディープローのようにダメージが大きくなり景気後退につながるのではないかと、非常に心配するところである。
▲	乗用車販売店 (経営者)	・コロナ禍や他国の侵略戦争による原油、ガス不足と物価上昇等のため、購買意欲が減少している。ただし、当地域の自動車メーカーは、生産台数の内、輸出が63%を超えるので、為替差益は大きい。円高傾向になれば諸刃の剣となる。
▲	乗用車販売店 (従業員)	・受注状況から見る限り、依然として厳しい状況が続く。
▲	住関連専門店 (店長)	・このまま新型コロナウイルス新規感染者数が増え続けると、現状から悪化することが懸念される。
▲	その他飲食 [給食・レストラン] (総務)	・求人難に加えて、最低賃金の見直しが今年度も予定されている。扶養控除の範囲内の勤務を希望する社員も多く、1人当たりの勤務時間が短くなれば、更なる人員不足となりかねない。労働集約型の業務では、他のコストアップ要因も加わって、業務環境は一段と厳しくなる。
▲	テーマパーク (職員)	・新型コロナウイルス新規感染者数の大幅な増加により、夏季繁忙期になっても入園者数は足踏み状態である。

	▲	その他サービス [自動車整備業] (経営者)	・円安、新型コロナウイルス感染症、エネルギー問題、諸物価高騰と、様々な問題が目白押しである。せめて、大災害が発生しないことを祈るのみである。
	▲	設計事務所 (所長)	・やや良くなる傾向にあったが、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加、物価の高騰、ヨーロッパ情勢等により、景気は冷え込みつつある。
	×	一般小売店 [家電] (経営者)	・とにかく物が高過ぎる。税金でも減らしてくれない限り、一般庶民は生活できなくなる。買い控えは必ず起きる。
	×	コンビニ (経営者)	・今月初めまで大きなイベントがあり、売上が非常に伸びたが、イベントも終わったので今後は悪くなる一方だと思っている。
	×	衣料品専門店 (販売担当)	・多くの客が動き出そうとした矢先に、新型コロナウイルス感染拡大第7波が来てしまっている。来月からは、夏休みや旧盆があり、人の動きは多少出ると思うが、当店の顧客は高齢の方がほとんどなので、相当動きが鈍い状況が続くのではないかと。こうしたことから、今後もしばらくの間は外出自粛が増えていくと思うので、ますます悪くなっていく。
	×	一般レストラン [居酒屋] (経営者)	・新型コロナウイルス新規感染者数の急増と夏のイベントが重なって、更に感染者は増えるだろう。経済を止めないというもの、社会的に自粛が当然となり、来客数は激減するとみている。
	×	その他飲食 [ファーストフード] (経営者)	・物価高が止まらず、新型コロナウイルス感染拡大の第7波が来て、周辺や社員、私自身も含め、感染者や濃厚接触者になる状況で、店を回していくのも非常に大変である。景気が上がっていくような形が考えられない。
	×	都市型ホテル (経営者)	・新型コロナウイルス感染拡大の波と繰り返される濃厚接触者の行動制限により、何ら景気回復の兆しが見えない。
	×	都市型ホテル (支配人)	・新型コロナウイルスの感染が拡大している最中で、ピークアウトが8月後半になるとしても、3か月後はまだ感染状況が落ち着いていないのではないかと。
	×	都市型ホテル (スタッフ)	・コロナ禍も一段落し、宿泊は県民割等の補助事業もあり、過去最高の客単価を残すなど好調である。レストランも2018年比で90%近くまで持ち直しており、好調である。また、宴会の受注件数も増え、1組当たりの人数も持ち直しが見えてきていたが、新型コロナウイルスオミクロン株B A. 5のまん延で、一気に動きが止まっている。キャンセルも増えており、この状況が改善されない限り、同じことの繰り返しである。
	×	タクシー運転手	・再び、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かなければ、悪い現状は続きそうである。
	×	通信会社 (経営者)	・仕入コストの増加、サプライチェーン崩壊による商材不足が続く、ようやく一部商材の納入が正常化してきたと思ったら、新型コロナウイルス感染拡大第7波である。二重苦、三重苦の状況で、景気が良いはずがない。景気後退になっても、日本は利下げもできない。大規模金融緩和はもう失敗に終わったのだから、いつまでも意地を張ってないで、柔軟に善後策をとるべきではないのか。
	×	ゴルフ練習場 (経営者)	・原材料費の高騰や電気、ガス料金の値上げにより、商材価格を値上げせざるを得ない。
	×	美容室 (経営者)	・日銀短観によれば、経済再開に対する期待で大企業はプラスを維持しているが、中小企業はマイナスに沈んでいる。日本経済の復活は、中小企業の利益成長なくしてありえない。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—
	○	金属製品製造業 (経営者)	・受注元の生産計画によるが、やや良くとみている。
	○	電気機械器具製造業 (経営者)	・これから、新型コロナウイルスの感染状況がどうなるかによって、また変わってしまうだろうが、大分動くという予測が出ているので、多少なりとも安心できる。
	○	輸送用機械器具製造業 (総務担当)	・主要な取引先からは、受注が増加するとの通知がある。
	○	その他サービス業 [情報サービス] (経営者)	・商談や受注件数、金額いずれも増加しており、収益が更に改善するのではないかと。
	□	窯業・土石製品製造業 (経営者)	・現在、いろいろな物の値段が値上がりしている。ただし、今のところ影響を余り受けていないと思うので、このまま続けてほしい。

	<input type="checkbox"/>	金属製品製造業（経営者）	・今のところ、先のことは分からない。ただ、不安材料はたくさんある。
	<input type="checkbox"/>	輸送用機械器具製造業（経営者）	・8月は9連休があるので、やや悪くなる。こんな状況が続いているので、2～3か月先のことは、分からない。
	<input type="checkbox"/>	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・まだしばらくは、新型コロナウイルス感染拡大の影響が残ると考える。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（営業担当）	・今後も、新型コロナウイルスが感染拡大しても行動制限等が行われなければ、レジャー、バーベキュー、園芸用品や草刈り機等の物量は前年並みを確保予定である。しかし、原油高による燃料費高騰などで経費がかさんで厳しいため、利益確保は難しくなりそうである。
	<input type="checkbox"/>	経営コンサルタント	・ウクライナ戦争と中国上海のロックダウンの影響が続いている上に、新型コロナウイルス変異株の派生型のまん延が原因となって、急に先行きに対する不透明感が出てきている。さらに物価高騰とサプライチェーンの断絶による品不足が収まりを見せないなか、まだしばらくは消費活動が抑えられるのではないかと懸念している。
	<input type="checkbox"/>	司法書士	・当面はやはり落ち目の状態で変わらないというところである。
	<input type="checkbox"/>	社会保険労務士	・物価高騰は続くだろうが、政府も景気対策を打つと思うので、それほど大きくは変わらないのではないかと懸念している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・あらゆる物の価格上昇で、非常に厳しい状態が続くのではないかと懸念している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（経営者）	・自動車メーカーの生産ラインが今後どのように稼働するのか、明確な情報がないので苦しい状況が続く。サプライチェーンの断絶により、注文しても手に入らない物が増えてきており、計画的な生産が不可能になる状況が拡大するのではないかと懸念している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	一般機械器具製造業（経営者）	・購入している各種材料の単価が異常なほど上がっているため、発注元も不安要素が大きく、注文を出しづらくなっているようである。今後、周りでも倒産が出てくるのではないかと不安がある。
	<input checked="" type="checkbox"/>	建設業（総務担当）	・発注見通しも件数が少なく、工事量が増えてくるのか分からず、先行きがとても不安である。
	<input checked="" type="checkbox"/>	広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染拡大第7波では、身近なところでの感染も見受けられる。これからのシーズンに影響があると思っている。
	<input type="checkbox"/>	建設業（開発担当）	・現政権の下、公共工事は順調で有り難い。ただし、コロナ禍で、公共工事発注は大変厳しい状況にある。発注額が前年比29%減、前々年比37%減と、壊滅的な状況である。公共事業は災害時の復旧作業にはなくてはならない業種だが、この状況では今後対応できなくなるのではないかと心配である。
	<input type="checkbox"/>	不動産業（管理担当）	・今後も、社内で新型コロナウイルス感染症の陽性者が出るのが予想され、通常の業務を延期したり縮小したりと、売上減少の見込みがある。また、9月末で取引先との契約解除が決まってしまうなど、売上の減少要因が増えるため、悪くなる。
雇用 関連 (北関東)	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（経営者）	・地方では、旧盆の休みや夏休みを見越して、観光地等や夏物商材の遊具等、購買力は幾分か上がってきているようである。大型、中型店舗での購買意欲にも活発さがみられるが、購買力は一進一退の状況で、今後に期待はできるのか不安は残っている。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（管理担当）	・サービス業への派遣求人数が増加するため、やや良くなる。
	<input type="checkbox"/>	学校〔専門学校〕（副校長）	・新型コロナウイルスオミクロン株の変異株の感染拡大が心配ではあるものの、経済との両立を優先する動きが企業からうかがえるため、ウィズコロナが進んでいく。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・派遣依頼数に対して、人材不足の状況は変わらない。また、稼働スタッフの新型コロナウイルス感染者数が急増しており、売上への影響も懸念される。
	<input checked="" type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染拡大が再び起きている。当然、どの業種、どの地域でも影響はあると思うが、先行きが不透明なかで、出歩くことを控えることなどが起きてくる。宿泊施設関係ではキャンセル等も増えているようなので、先行きは若干悪くなるのではないかと予想している。

▲	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの本質をとらえないで、感染予防策を押し付けている我が国や世界各国が、経済を圧迫している傾向は一層強くなっている。今回、WHOからサル痘の緊急事態宣言が発出されたこともあり、このまま押さえつけていくのであれば、どんどん悪くなっていく。
▲	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用面では持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルスの感染急拡大、各種原材料高、燃料や光熱費の上昇、ウクライナ情勢等、不安要因が多く、今後の雇用への影響が懸念される。
×	*	*